

平成30年度 事務事業評価及び実施計画について

常総市総務部行政経営課



はじめに



昨年度の事務事業評価結果



昨年度の実施計画結果



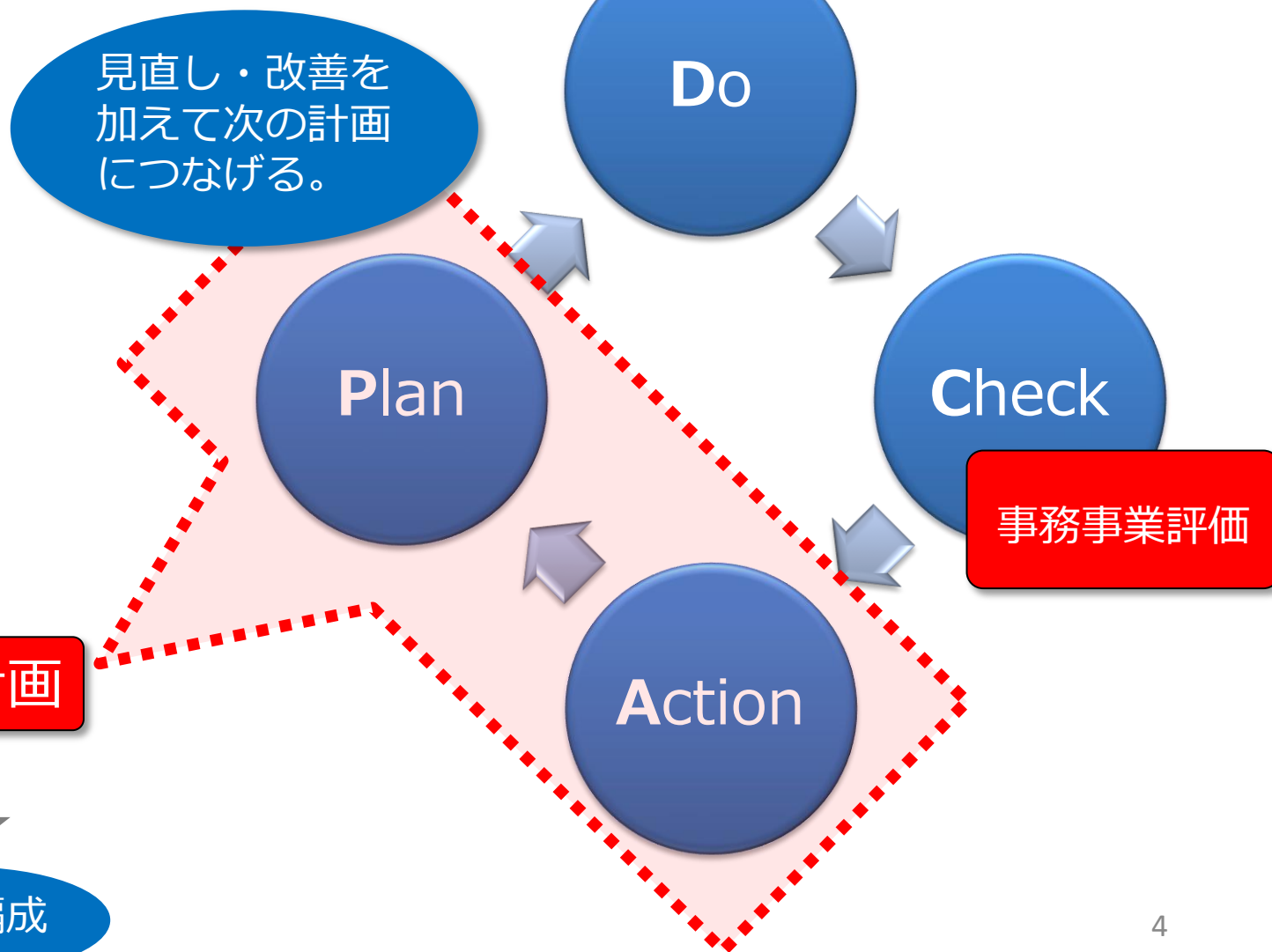
今年度の方針

はじめに

位置付け

平成30年4月策定

PDCAサイクル



整合

具体化

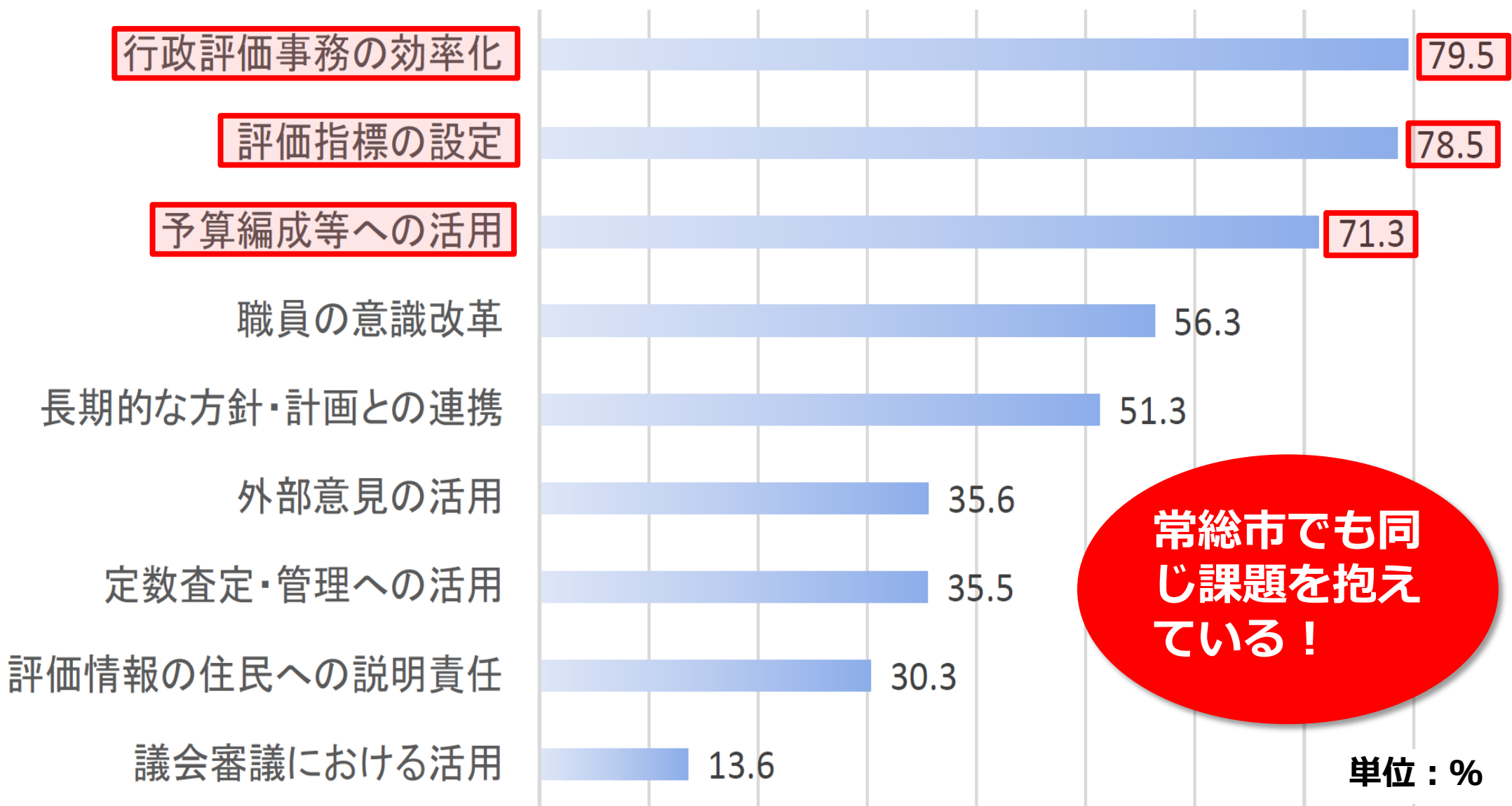
分野別計画

実施計画

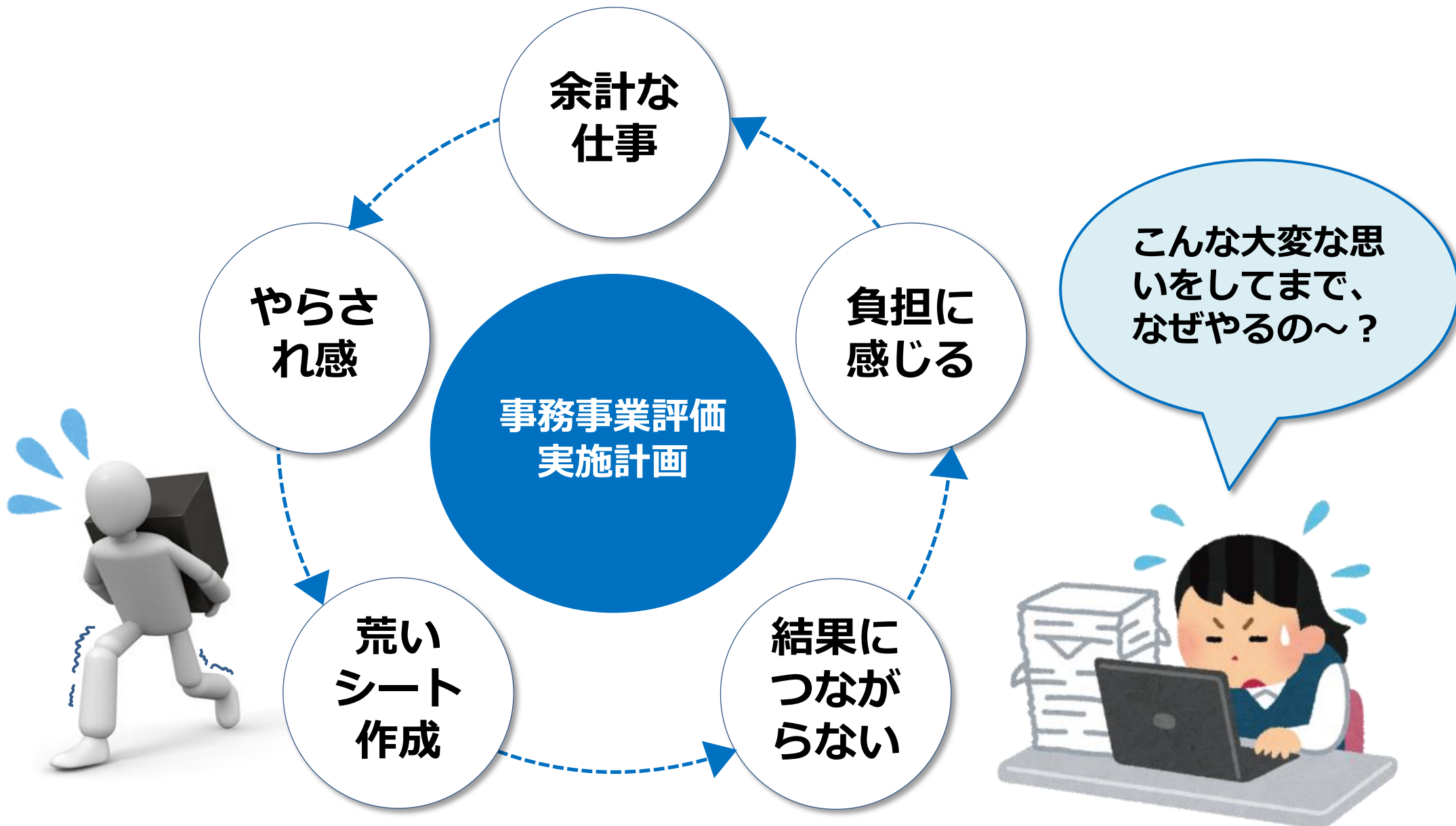
具体化

予算編成

事務事業評価の課題



負のスパイラル





いろいろと考えられるけど、やっぱり・・・！



最たるものは“説明責任”



私たちが納めた税金は、
どのように使われているのだろう…。

どのような仕事に税金を使ったのか。

効果・成果はあったのか。

今後どのような仕事に税金を使うつもりなのか。

市民に説明するのは当然のこと。

昨年度の 事務事業評価結果

評価結果の内訳

事務事業の内容

予算への反映

現行どおり・現行どおり

188

拡充・増額

32

拡充・現行どおり

11

現行どおり・増額

4

休止廃止・要求すべきではない

2

縮小・縮減

2

休止廃止・縮減

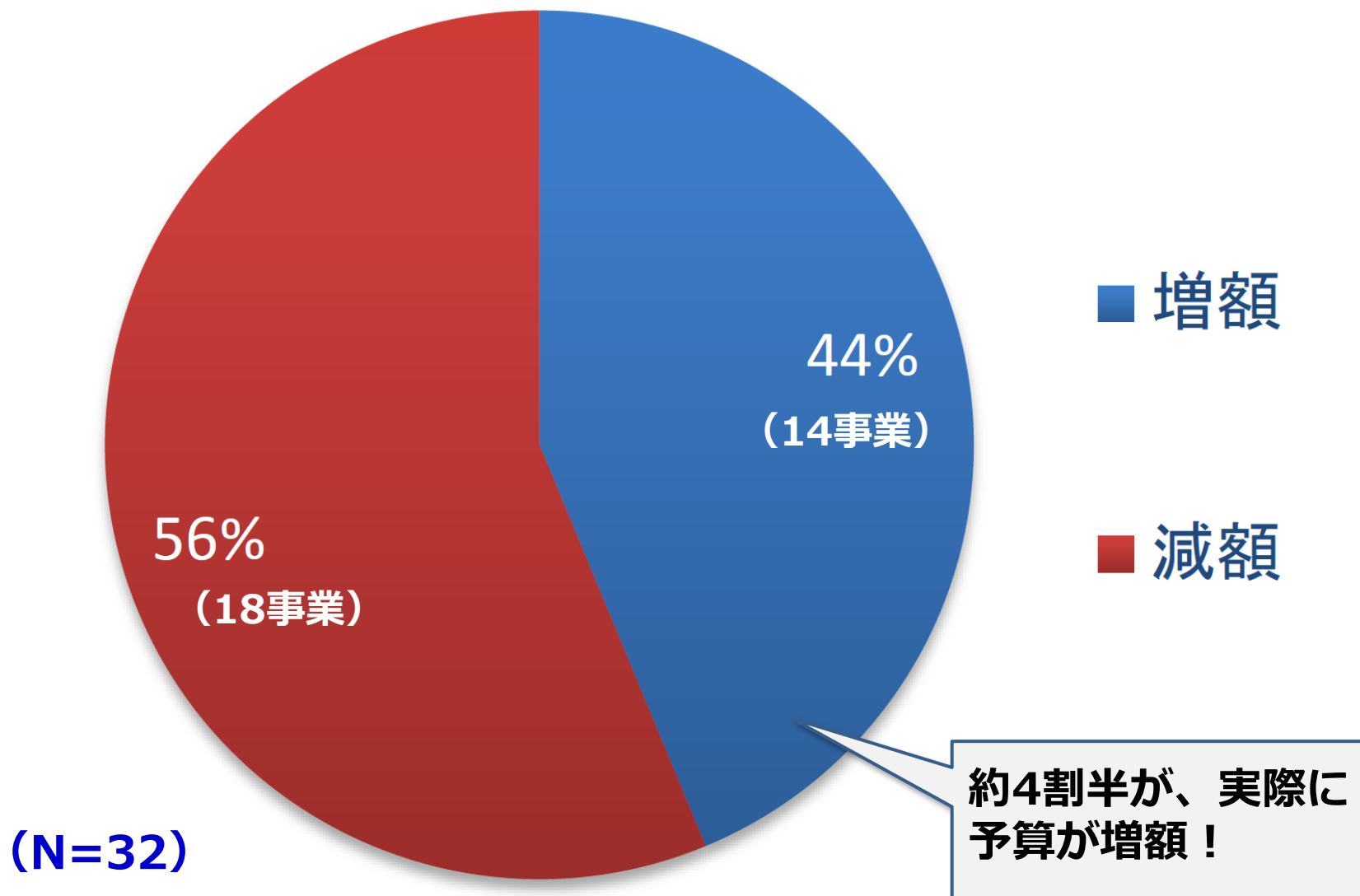
1

8割以上が
「現行どおり」！

(N=240)

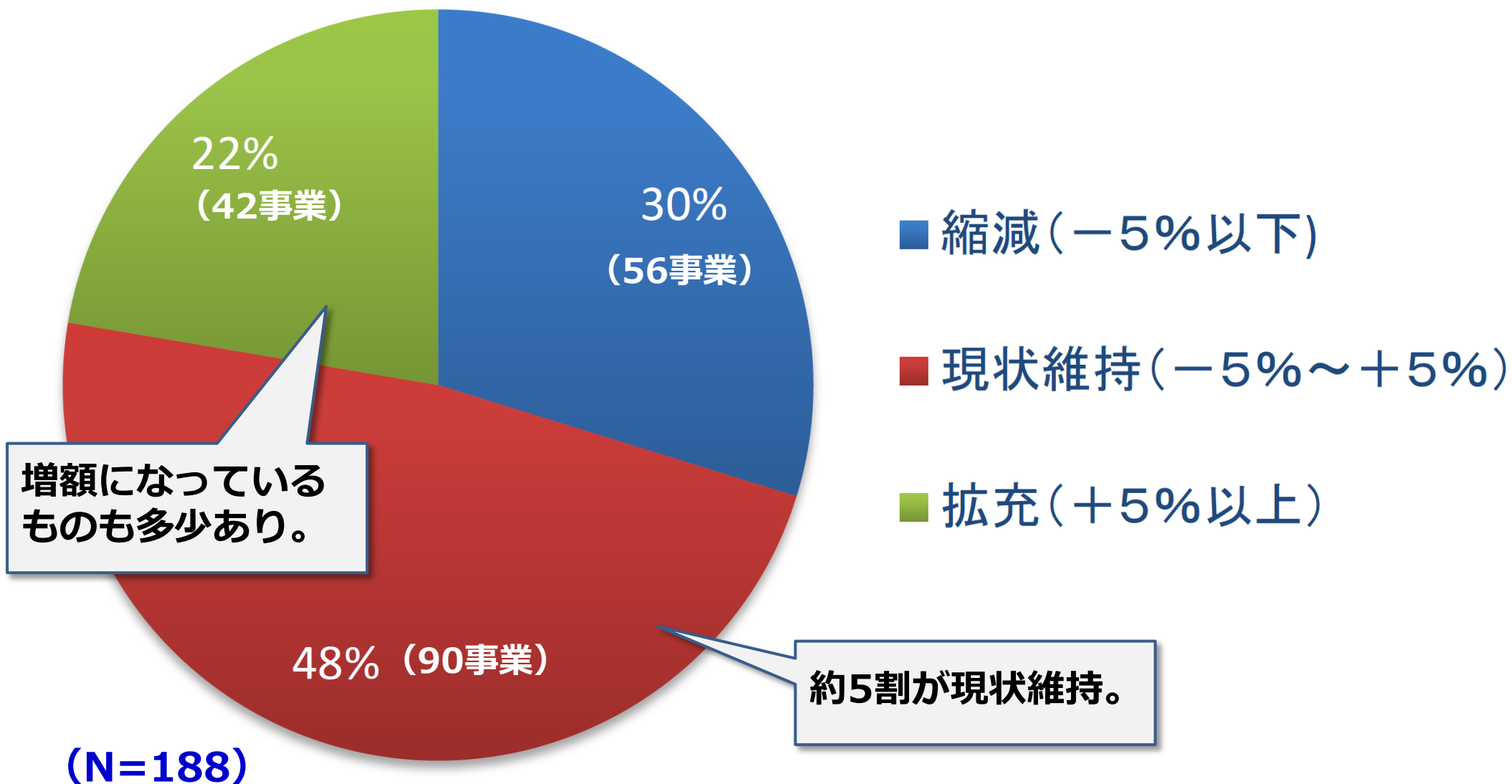
「拡充・増額」について

平成29年度当初予算に対する平成30年度当初予算の決定額

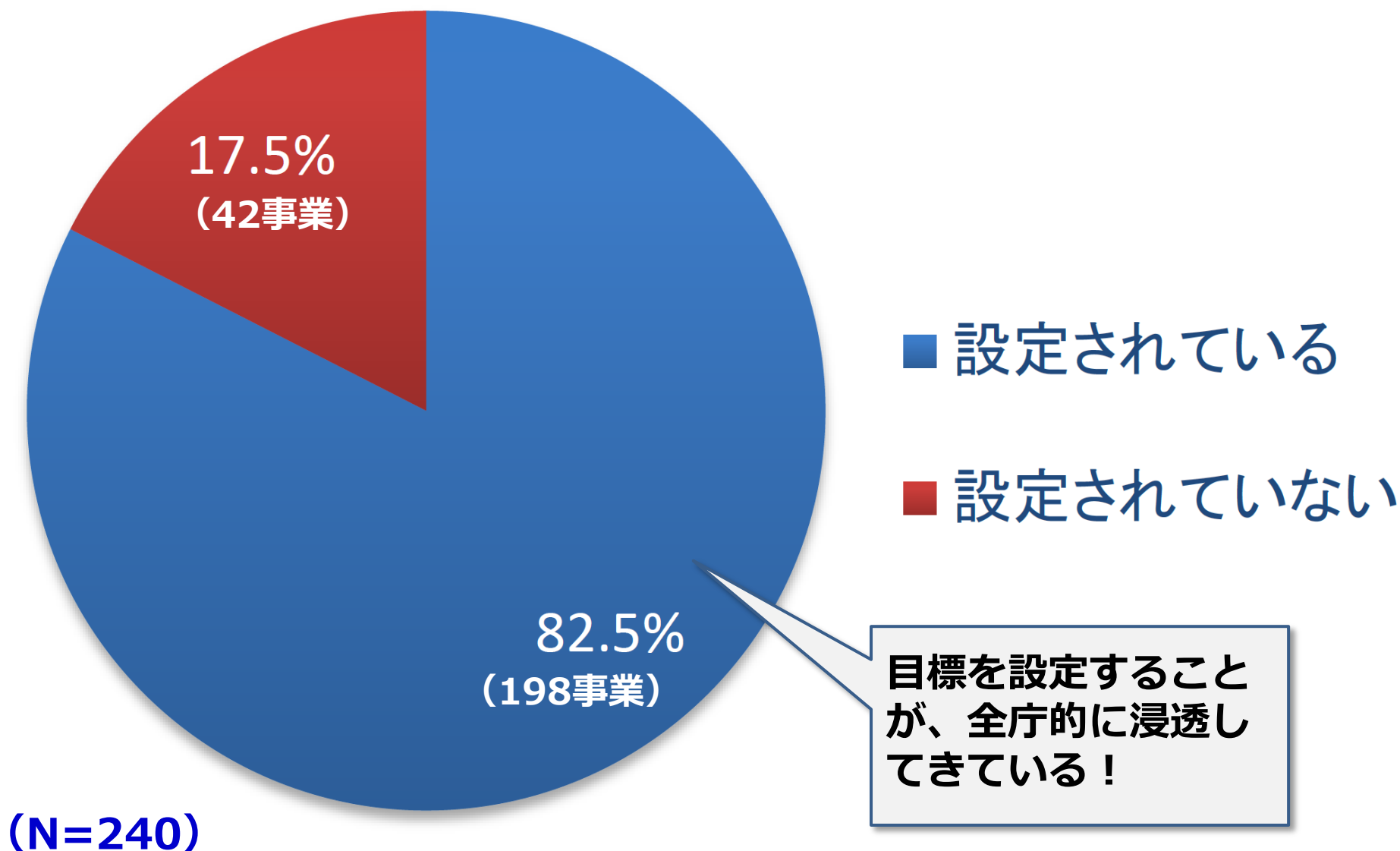


「現行どおり」について

平成29年度当初予算に対する平成30年度当初予算の決定額

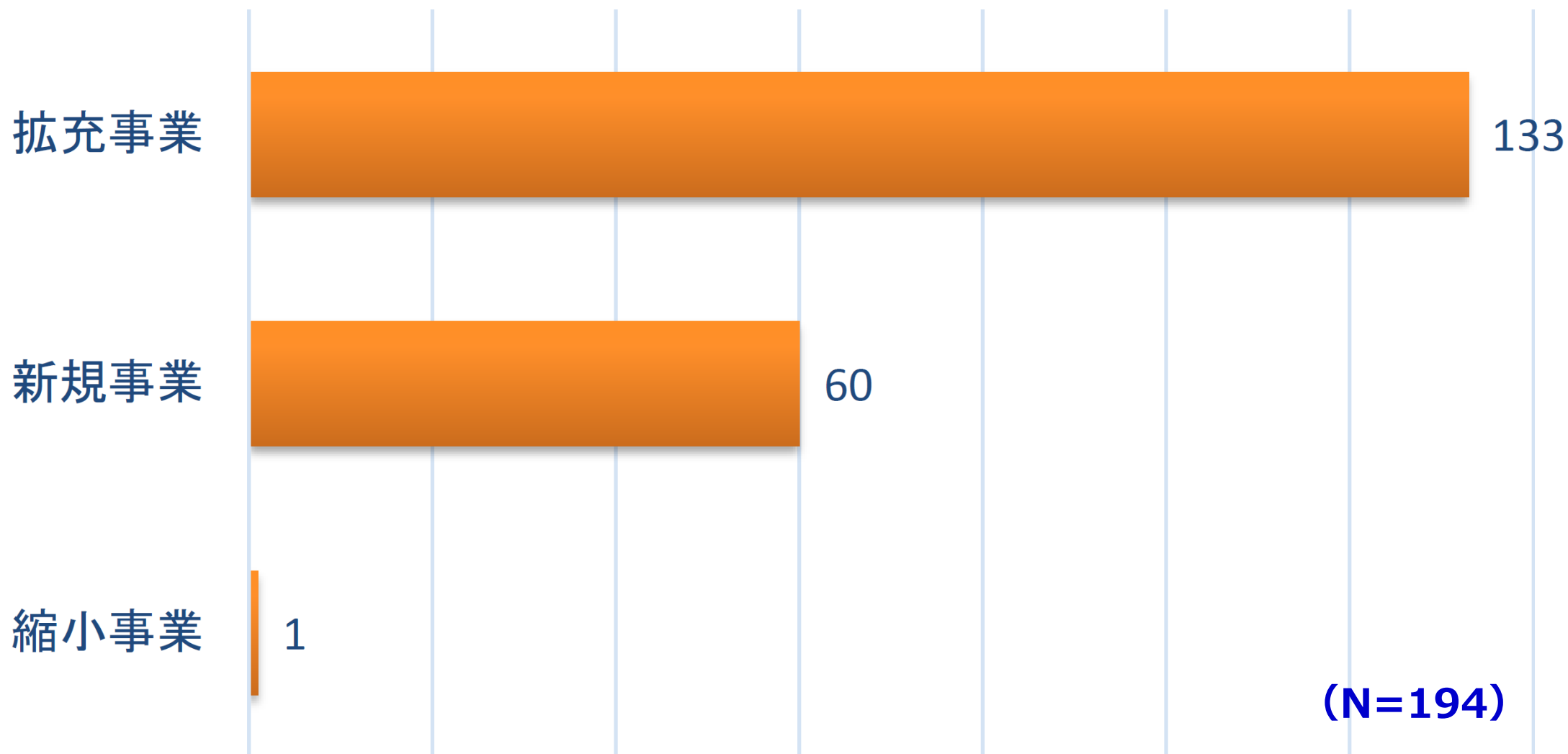


成果指標及び目標値が設定されている事務事業の割合

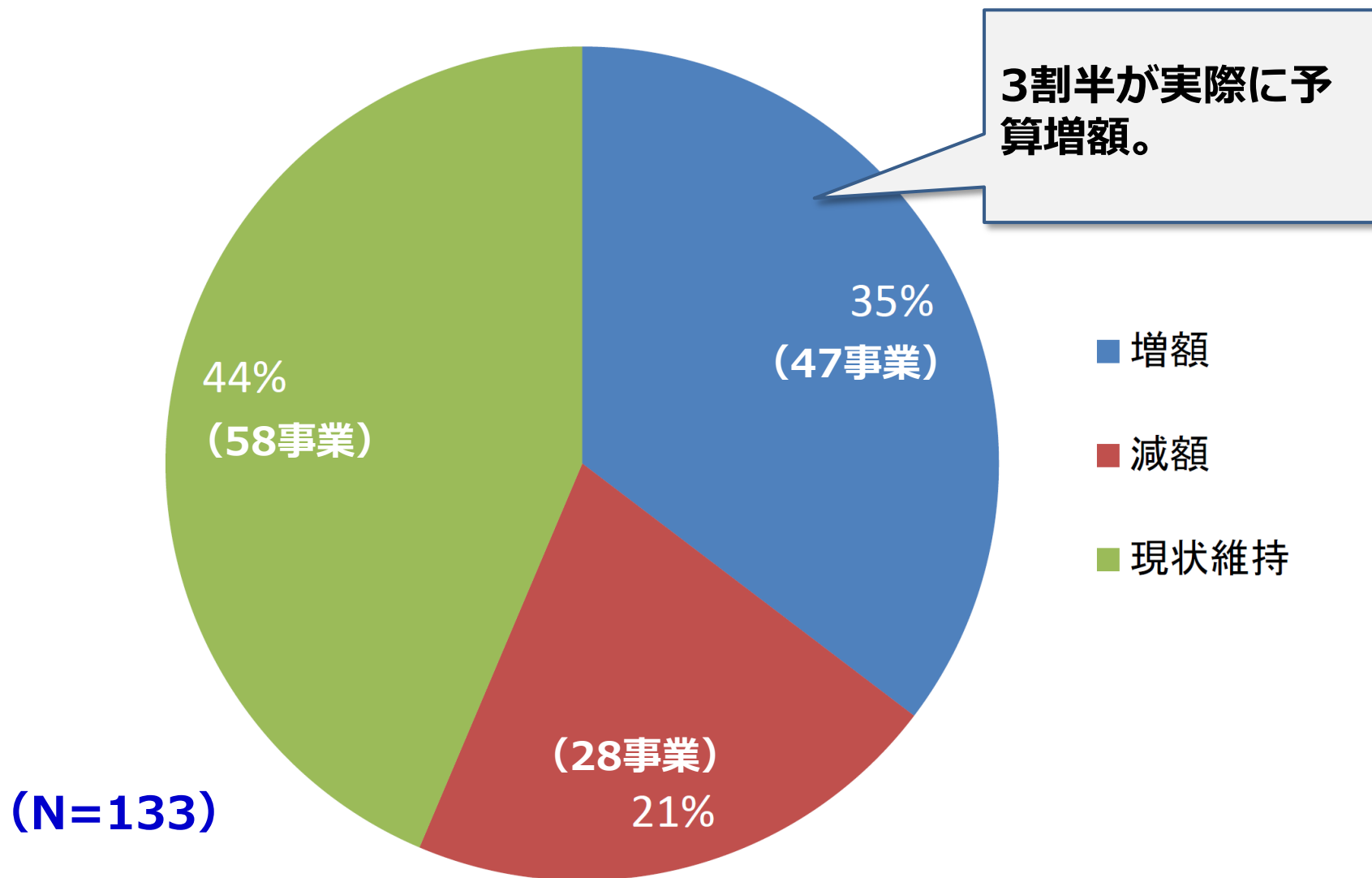


昨年度の実施計画結果

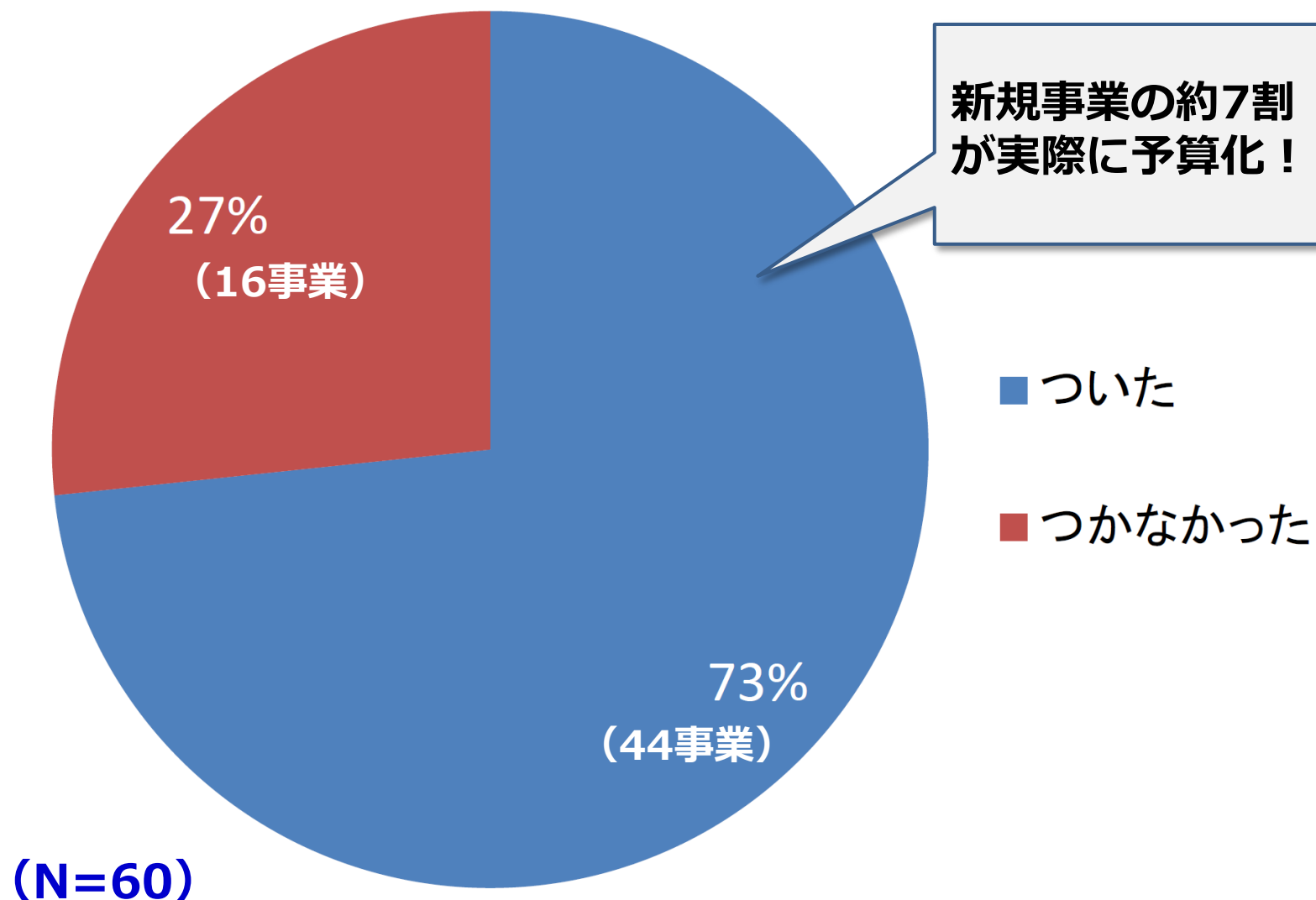
提出された事業区分の内訳



平成29年度当初予算に対する平成30年度当初予算の決定額

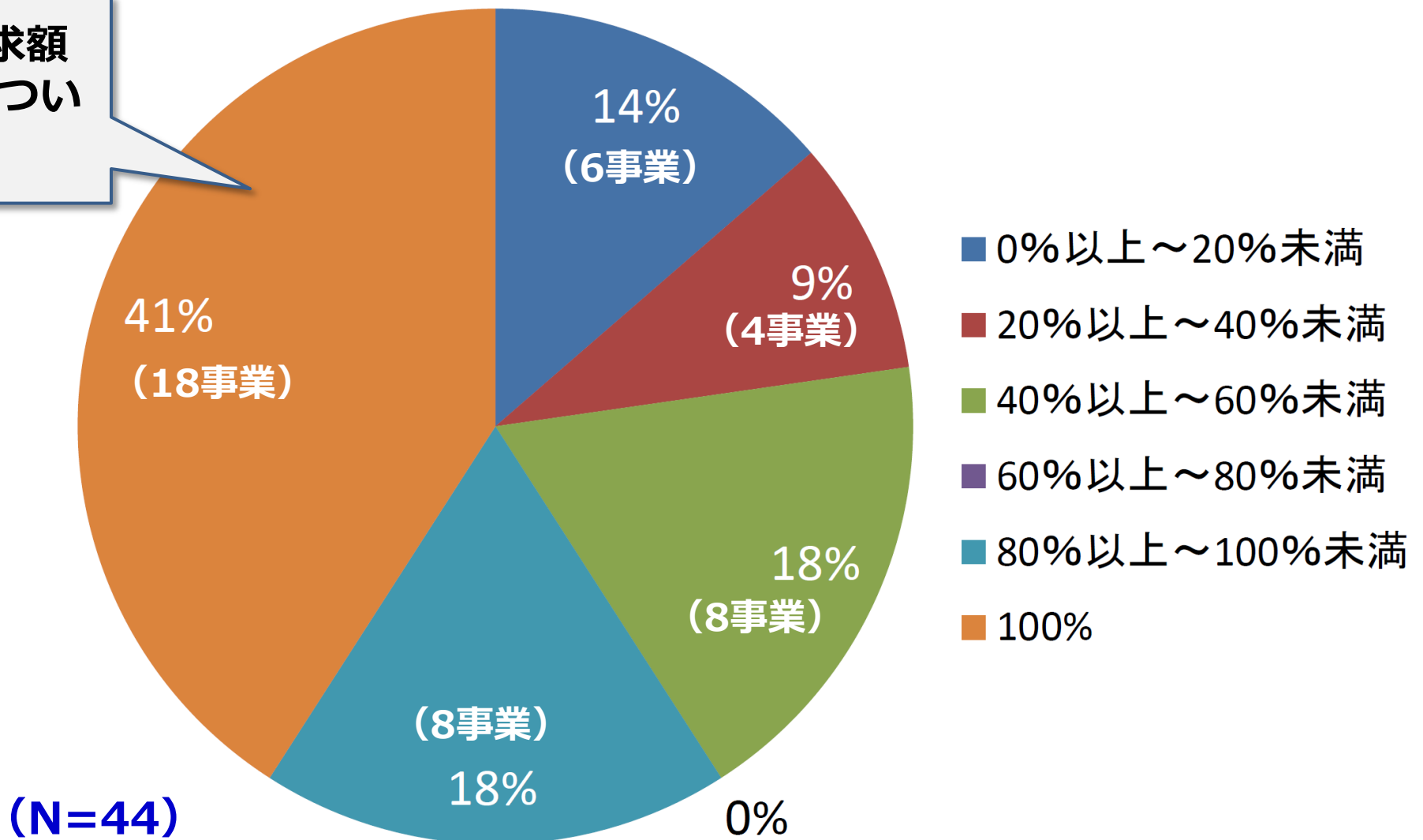


平成30年度当初予算化の状況



平成30年度当初予算要求額に対する決定額の増減率

約4割が、要求額満額の予算がついた！



予算編成

事務事業評価

実施計画

予算編成の過程で、事務事業評価と実施計画は、100%までとはいかないが、少なからず予算へ反映されている。

今年度の方針（案）

事務事業評価事務 の効率化

長年の課題

評価指標の設定

8割以上の事務事業で設定されている。

予算編成等への活用

100%ではないが、少なからず予算に反映されている。





事務事業評価シート

実施計画調書

ひとつの様式に統合

特

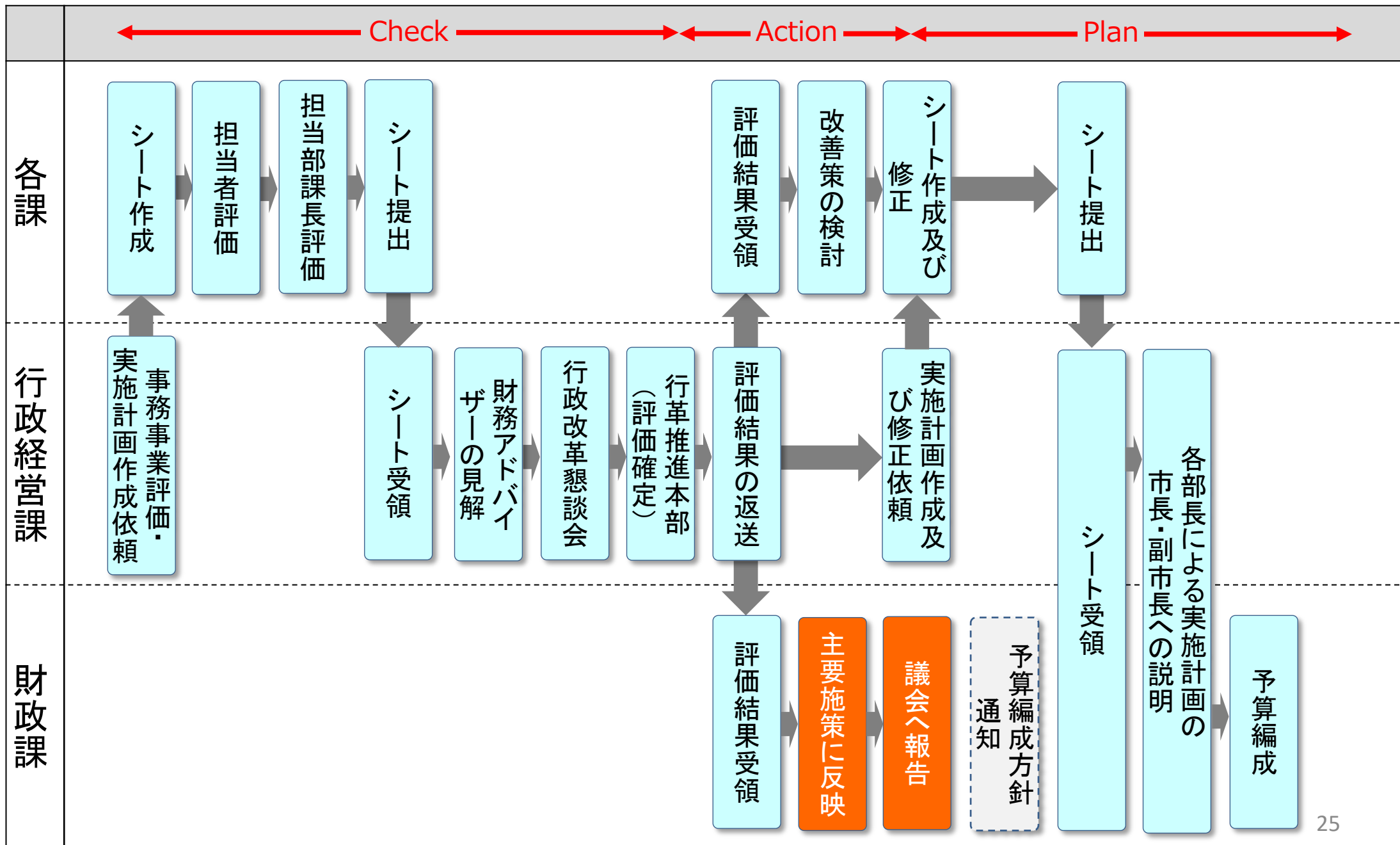
これまで別々の様式で運用していた事務事業評価・実施計画をひとつの様式にまとめることで、シート作成の**負担が軽減**できる。

「現状・課題」と「望ましい状態」を整理することで、望ましい姿にするためにはどんなことを実施すべきか、事業本来の**目的がハッキリ**する。

徴

「計画(P)→実施(D)→評価(C)→改善(A)」のPDCAサイクルを1枚のシートに落とし込むことで、計画立案から改善までのプロセスが**一目で把握**できる。

業務フロー



ベース

- 平成29年度当初予算書の予算事業
- 一般会計 & 特別会計

除外

- 国庫事業・市に裁量の無いもの
- 義務的経費・災害復旧費・その他

事務事業評価対象事業決定

現状維持・縮小・休止廃止

- 実施計画は作成するが、提出は求めない。

拡充・新規

- 実施計画を作成し提出。

実施計画部分

今年度のスケジュール



👉 仕事の事後評価は…

実際に仕事に **携わった人** が評価すべき

👉 新年度になってからの評価では…

事業に携わった人が **人事異動** してしまう可能性あり

👉 適正な事後評価のためには…

人事異動前 に評価を完了させる

年度末に評価する必要がある。